

ユーティリティ設備最適稼働サービス

設備運用をデジタルの力で効率化し 収益性向上・CO₂削減に貢献

激変する環境の中で収益性向上・次への積極投資強化が急務

お客さまを取り巻く環境変化

1. 既存事業のポートフォリオ変革
2. 法規制によるESG経営への転換が不可避(排出量取引への参加義務化)
3. 国内景気拡大期(バブル・いざなみ)に導入した設備の更新

お客さまの取り組み

1. 高付加価値事業への積極投資
(投資家に対するROE/ROIC向上宣言)
2. 調達燃料・エネルギーの転換、省エネ施策導入
(CO₂排出量を抑えた外部調達、設備の省エネ運転)
3. 経営指標を意識した設備投資計画・予算化
(限られた予算内で設備投資の優先順位付け)

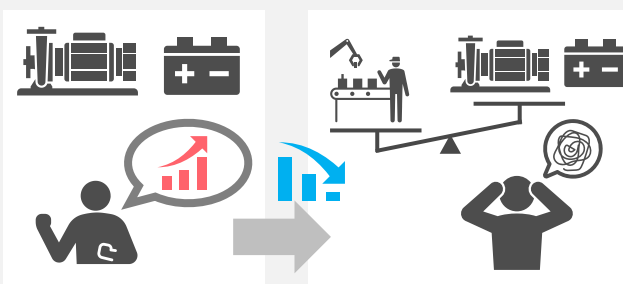
設備投資コスト低減と脱炭素取組を両立した最適な「燃料・エネルギー調達／設備投資」および「設備運転の最適化計画/運用」が求められる

こんなお悩みはありませんか？

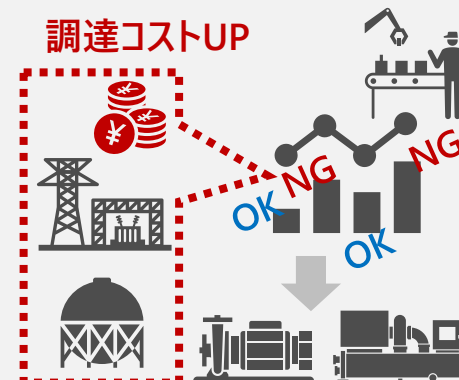
燃料高騰・脱炭素化に対応した設備選定の最適化と段階的な投資に苦慮



将来の事業成長を見越し、ユーティリティ設備を導入したが需給ギャップが発生



エネルギー需要の変動に対し、ユーティリティ設備の稼働が追従できず、エネルギー調達コストが増加



- サイバー空間にお客さまのフィジカル設備とその運用を再現
- 設備投資計画～設備導入～設備運用まで継続支援
- お客さまのコスト・CO₂排出などのKPI達成に寄与

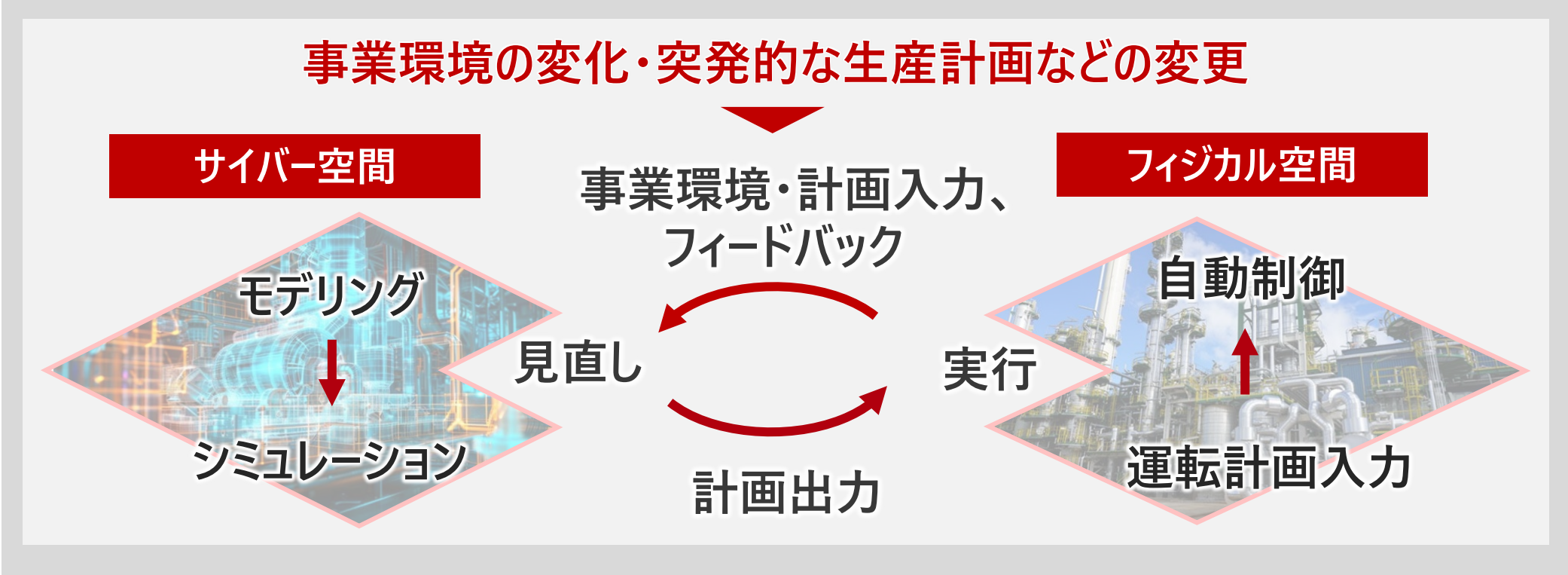
ユーティリティ設備最適稼働サービスの概要

投資計画～設備導入、運用・保守まで一気通貫でご支援し、設備投資・稼働計画の最適化、生産計画に対応したタイムリーな効率化運用を実現します。

投資計画フェーズ	設備導入フェーズ	運用・保守フェーズ
設備投資計画 フィジビリティスタディ	エネマネ実行基盤 環境構築	設備最適運用サービス
お客さまの最適KPIで迅速に設備投資計画を立案	設備導入、運用実行基盤の実行環境を一括構築	お客さまのビジネス変化に追従し、最適設備運用を継続支援

サービスを支える日立の最適基盤の紹介

デジタル空間で収益性向上に向けた複数シナリオに基づくシミュレーション実行、運用段階では稼働情報をインプットして、最適化運転計画を作成・制御。



最適な投資・運転計画の策定	KPIや制約を考慮し、数理最適化で複数シナリオを比較しながらお客さまに合った、最適なご計画を提案。段階的な投資計画や、実現可能なロードマップ提示。
設備運転の最適制御	生産計画やエネルギー条件の変化に応じて、迅速に最適な運転計画を立案・制御。
柔軟なシナリオ対応	将来の変動要因を踏まえた複数シナリオでの計画立案とリスク低減。

本資料に記載されている製品・サービスの一部は開発中の段階にあり、内容は予告なく変更される可能性があります。詳細につきましては、お問い合わせください。

株式会社 日立製作所
A I & ソフトウェアサービスビジネスユニット
G X 事業本部
お問い合わせ先
日立 グリーントランスフォーメーションWebサイト
https://www.hitachi.co.jp/products/it/gx_business/

